

月高だより

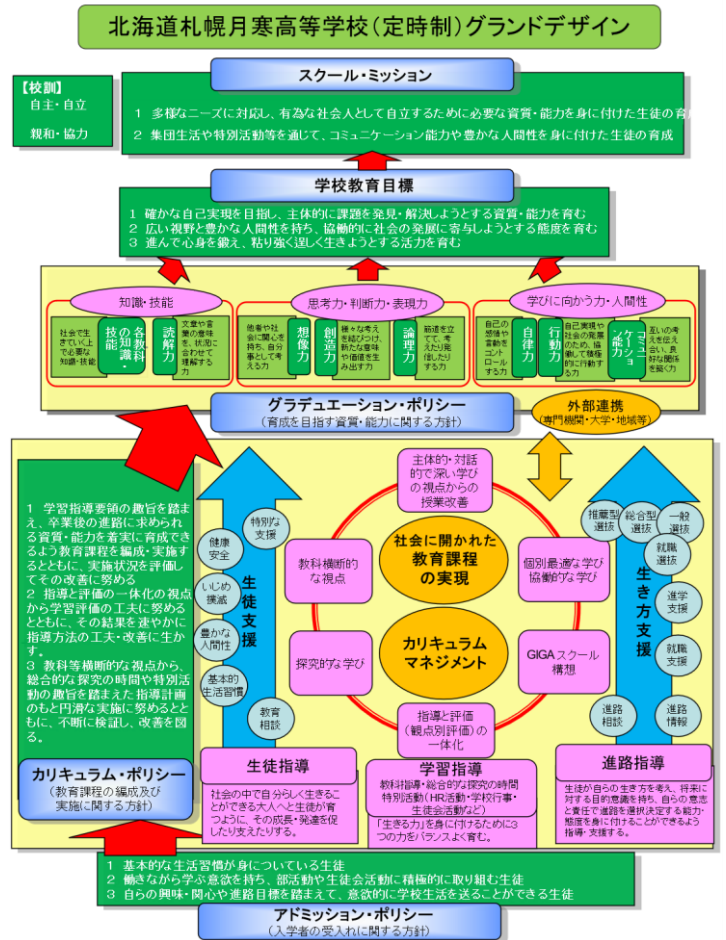
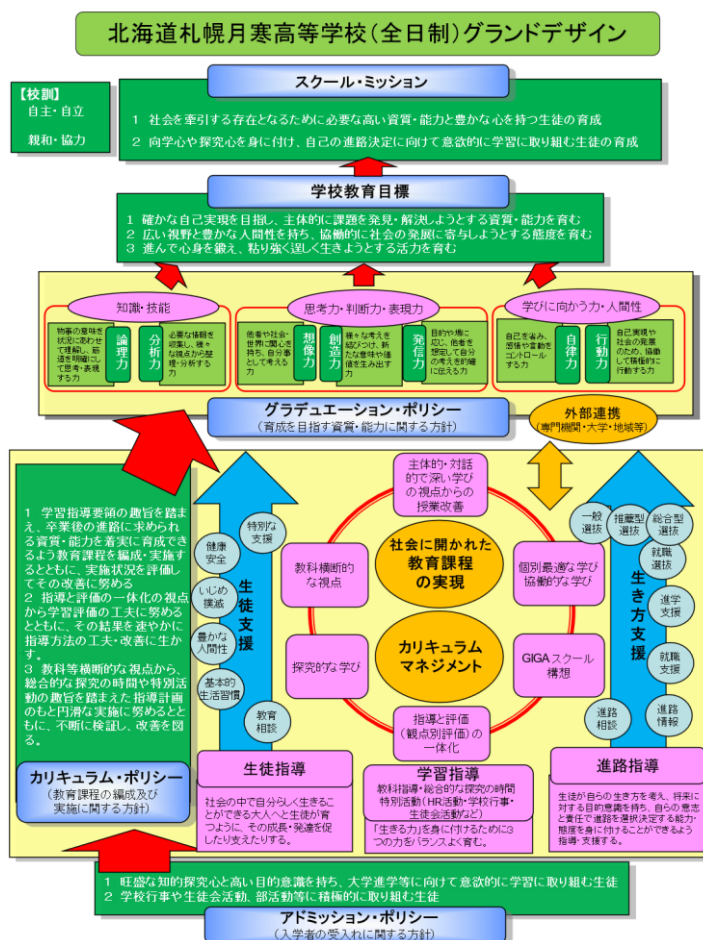
北海道札幌月寒高等学校
第 31 号
令和 6 年 6 月 20 日発行
発行者 校長 三 村 素 道

■本校のグランドデザイン

中高年世代が経験したスピード（「早くしなさい！」）・正確性（「ちゃんとしなさい！」）・従順性（「いい子にしなさい！」）など「正解」にあふれていた高度経済成長期が終わり（カッコ内の言葉は、今でも大人が言いがちな言葉ですね笑）、今の世の中は、成熟社会であるデジタル社会を迎えています。特に日本社会においては、世界 1 位の少子高齢化、異常気象・地球温暖化、猛烈なスピードの技術革新が進み、あらゆるものが多様化、複雑化、変化しやすい「正解のない」時代になってきています。過去の経験では解決できない課題が山積する中で、知識をベースに新たなものを創造していかななくてはならない世の中です。これからの世の中では、様々な情報を集め、自分たちの頭で考え、他者と協働し、自分や他者が納得できる「納得解」（正解かどうかすら分からない）を生み出していくことが必要とされます。この社会の変化を見据え、本校教職員は、知識や情報、そして方法を常にアップデートしていく必要性を強く感じているところです。

下に示すのは、本校全日校及び定時校のグランドデザイン（学校教育に係る全体構想）となります。全・定それぞれの 3 つのポリシーすなわち、アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）、グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）、学校教育目標、校訓、スクール・ミッションを示しています。紙面が小さいため見づらく申し訳ありませんが、学校 HP にも掲載しておりますので、是非ご確認ください。

ご覧のように、本校では、「アドミッション・ポリシー」で示された生徒像をもつ入学生に対し、カリキュラム・ポリシーに沿って学校教育目標に示された教育活動を行い、グラデュエーション・ポリシーに示された 7 つの資質・能力を育成することで、スクール・ミッションに示された生徒像の育成」を最上位目標として教育活動を実践するとともに、評価、改善を行っていきます。



■交通安全教室 定時校では、5月10日に豊平警察署の方を講師にお迎えして、全日校では5月16日に札幌市交通安全推進委員会より講師をお迎えして交通安全教室を実施しました。それぞれ、毎日を安全に生活することに対する関心を高めるとともに、自他の生命の安全を考慮できる心を養うことを目的に、自転車マナーや歩行マナーについての講義を受けました。昨年度は、豊平区で行っている「高校生自転車マナーアップラー」にて、自転車通学者に占める交通事故の発生率が0件だったということで、豊平警察署より表彰を受けました。今年度も、登下校を含め、交通事故に巻き込まれない、巻き込まない1年であってほしいと切に願っています。



全日校の様子



定時校の様子

■ 令和 6 年度学校経営シラバス

下に示した学校経営シラバスは、本校の最上位目標を示したグランドデザインを具体化し、それぞれの対象に対する「目標」と「目標達成のための評価の観点」を示したものとなります。こちらをたいへん見づく申し訳ありませんが、学校 HP にも掲載しておりますので是非ご覧ください。

その構成は、教育活動と学校運営の 2 つからなり、教育活動においては、学習指導、生徒指導、進路指導、健康・安全指導を対象に、学校運営に関しては、運営、連携、働き方改革を対象としています。今年度の学校評価は、これらの観点に基づいて生徒、保護者の皆様、地域の皆様に評価していただくとともに、本校職員自身も評価を行い、更なる改善を図っていくこととなります。生徒たちがよりよい教育活動に主体的に生き生きと取り組んでいくことができるよう、ご協力よろしくお願いいたします。

令和 6 年（2024 年）度 学校経営シラバス

北海道札幌月寒高等学校（全日制）

観 対 象	中 期 目 標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教育活動	学習指導	◎学ぶ意欲を喚起するきめ細やかな学習支援・学習指導	○カリキュラム・ポリシーに則った教育課程の編成及び実施 ○卒業後の進路に求められる資質・能力を着実に育成できる教育課程を編成・実施しているか ○指導と評価の一体化の観点から、観点別評価を適切に実施し、指導方法の工夫・改善に生かすことができたか ○教科横断的視点から、総合的な探究の時間を中心に探究的な学びの充実が図られたか ○「主体的・対話的で深い学び」の実践を通した自主的な学習態度の育成 ○「令和の日本型教育」に示された個別最適な学びと協働的な学びの実践、及びそれらを支える ICT の有効活用
	生徒指導	◎豊かな人間性を育む生徒支援・生徒指導	○基本的な生活習慣の確立に努め、自ら規範意識をもって自己管理できる能力の育成 ○特別活動や課外活動等を通した社会性や主体性の育成 ○いじめの撲滅 ○自主・自立の校風の中で自己管理を促し、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、主体性を身に付けさせることができたか ○親和・協力の精神で社会性や豊かな人間性を育むことができたか ○お互いに人格と個性を尊重し支え合い、多様な在り方を相互に認め合える人間関係の形成を通じて、いじめ撲滅を図ることができたか
	進路指導	◎主体的な進路選択と個々の進路実現を目指す進路支援・進路指導	○進路相談や進路学習を充実させ、自己理解に基づく主体的な進路選択の促進 ○学年や教科との連携を密にし、生徒一人一人の能力・適性に合った進路実現の支援 ○低学年から進路意識の高揚を図り、計画的に進路実現に取り組む態度の育成 ○一人一人の確かな自己実現を図るため、充実した進路情報を適時に提供することができたか ○進路指導体制の充実に取り組み、様々な制度（推薦・総合型選抜・一般選抜等）を活用し生徒や保護者の期待に応える進路希望が実現できたか ○3 年間を見通した系統的で継続的な進路指導を行い、進路意識を高揚できたか
	健康・安全指導	◎自他の健康と安全を目指す健康支援及び健康・安全指導	○心身ともに健康な生徒を育成するため、健康・安全意識を高める啓発活動を行うとともに、事故の未然防止に努めたか ○教育相談や生徒理解の取組を充実させ、不登校等の早期発見と組織的な支援を行うことができたか ○安全・防災の観点から教育環境の維持向上を図るため、施設設備の日常的な点検整備を行い、改善に努めたか
	学校運営	◎学校課題の共有及び課題解決に向けた協働体制の充実	○PDCA のマネジメントサイクルによる教育活動の改善・充実 ○組織的・機能的な協働体制の充実 ○経営方針や教育目標を明示し、各種反省会や学校評価を適切に行い課題を明確にすることで、教育活動の改善・充実を図ることができたか ○分掌・学年及び職員間の連携を図り、校内研修会等を効果的に活用し協働して課題解決に取り組むことができたか
学校運営	連携	◎保護者、地域、関係機関等との効果的な連携体制の充実	○関係機関との連携による教育活動や諸行事の円滑な運営 ○地域や保護者への教育成果の周知及び普及 ○地域や後援会・PTA 等関係機関との連携を図り、教育活動や諸行事の円滑な運営に努めたか ○地域や保護者への教育成果の周知が図られたか
	働き方改革	◎健康でやりがいを持って勤務する合理的・機能的な労働環境	○「北海道アクション・プラン」の推進 ○公立学校の教師の勤務時間の上限に関する指針（時間外の上限を「月 45 時間内、年 360 時間内とする」）を遵守できたか

令和 6 年（2024 年）度 学校経営シラバス

北海道札幌月寒高等学校（定時制）

観 対 象	中 期 目 標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教育活動	学習指導	◎学ぶ意欲を喚起するきめ細やかな学習支援・学習指導	○カリキュラム・ポリシーに則った教育課程の編成及び実施 ○卒業後の進路に求められる資質・能力を着実に育成できる教育課程を編成・実施しているか ○指導と評価の一体化の観点から、観点別評価を適切に実施し、指導方法の工夫・改善に生かすことができたか ○教科横断的視点から、総合的な探究の時間を中心に探究的な学びの充実が図られたか ○「主体的・対話的で深い学び」の実践を通した自主的な学習態度の育成 ○「令和の日本型教育」に示された個別最適な学びと協働的な学びの実践、及びそれらを支える ICT の有効活用
	生徒指導	◎豊かな人間性を育む生徒支援・生徒指導	○基本的な生活習慣の確立及び、集団生活の規律や協調、責任を重んじる態度の育成 ○特別活動や課外活動等を通した社会性や主体性の育成 ○いじめ撲滅に向けた取組の徹底 ○規律ある生活により集団生活の基本を体得させるとともに生徒の自己管理を促し、自立を支援することを通して、基本的な生活習慣を確立できたか ○生徒の自主性を育成するため、部活動や生徒会行事等の活性化に取り組んだか ○お互いに人格と個性を尊重し支え合い、多様な在り方を相互に認め合える人間関係の形成を通じて、いじめの未然防止や解消を図るとともに、社会性や規範意識を育成できたか
	進路指導	◎主体的な進路選択と個々の進路実現を目指す進路支援・進路指導	○生徒が主体的に進路実現を目指すよう、早期からの進路指導の実施 ○生徒の能力や適性の的確な把握を踏まえた支援による進路意識の醸成 ○4 年間を見通した系統的で継続的な指導計画により、生徒の進路意識を高められたか ○進路面談の実施や進路情報の提供により、生徒一人一人の確かな自己実現を支援したか ○グラデュエーション・ポリシーに示された 8 つの資質・能力を育成できたか ○生徒・保護者の希望や期待を実現するため、外部機関とも連携して進路指導を行ったか
	健康・安全指導	◎自他の健康と安全を目指す健康支援及び健康・安全指導	○心身の調和のとれた健全な生徒の育成 ○健康的で安全な学習環境の整備及び、情報を活用した、生徒理解の深化 ○家庭や地域、関係機関との連携による交通事故等の防止 ○心身ともに健康な生徒を育成するため、健康・安全意識を高める啓発活動を行ったか ○教育相談や生徒理解の取組を充実させ不登校等の早期発見と組織的な支援を行うことができたか ○事故防止の観点から、家庭や地域、関係機関との連携を図ったか
	学校運営	◎学校課題の共有及び課題解決に向けた協働体制の充実	○PDCA のマネジメントサイクルによる教育活動の改善・充実 ○組織的・機能的な協働体制の充実 ○経営方針や教育目標を明示し、各種反省会や学校評価を適切に行い課題を明確にすることで、教育活動の改善・充実を図ることができたか ○責任を明確化しつつ、分掌間・職員間の連携を図り、校内研修会等を効果的に活用し協働して課題解決に取り組むことができたか
学校運営	連携	◎保護者、地域、関係機関等との効果的な連携体制の充実	○関係機関との連携による教育活動や諸行事の円滑な運営 ○地域や保護者への教育成果の周知及び普及 ○地域や後援会・PTA 等関係機関との連携を図り、教育活動や諸行事の円滑な運営に努めたか ○地域や保護者への教育成果の周知が図られたか
	働き方改革	◎健康でやりがいを持って勤務する合理的・機能的な労働環境	○「北海道アクション・プラン」の推進 ○公立学校の教師の勤務時間の上限に関する指針（時間外の上限を「月 45 時間内、年 360 時間内とする」）を遵守できたか

■ 今後の行事予定

	全日制	定時制
7 月	11-13 学校祭、16 振替休日、17 2 年大学ガイダンス、24 休業前集会、25-8/21 夏期休業、26-30 前期講習	11 映画鑑賞、12 遠足、18 就業体験・ボランティア、22 1 学期終業式、23-8/22 夏期休業
8 月	1-5 後期講習、13-15 学校閉庁日、22 休業明け集会・実力テスト	13-15 学校閉庁日、23 始業式、26 生活体験発表大会校内発表会、30 計算コンクール



今年度の月高祭ポスター 一般公開は 7/13

●本校ホームページもご覧ください。
<http://www.sapporotsukisamu.hokkaido-c.ed.jp/>



●本校への応援やご意見などのメッセージなどを右の QR コードまたは、下のアドレスよりお寄せください。
<https://forms.gle/iD4cobHyvqSNvGGy7>

